

<p style="text-align: center;">教育目標(めざす児童生徒像)</p> <p>学び合う子 思いやる子 たくましい子を育てる</p>	<p style="text-align: center;">今年度の指導の重点</p> <p>基礎学力の定着を図り、学ぶ意欲を育てる。 ・お互いを認め、支え合う集団を育てる。 ・ねばり強く最後までやりぬく子どもを育てる。</p>
<p>調査結果について(調査結果において明らかになったこと)</p>	
<p>【学力状況調査の結果】 全国 国語では、A・Bともに記述式の問題の正答率が低い。「資料を読み取りわかることを書く」「条件に合わせて書く」「目的に応じて書く」問題では県平均を大きく下回っている。 漢字や文法などの基礎が定着していない。 長い文章、グラフやパンフレットなどの資料を読み取ること、設問の意図を正しく捉えることができにくい。 算数Aでは、「量と測定」「図形」の領域で県平均を上回っている。 基本的な四則計算の正答率が低く、特に小数の加法・減法、乗法・除法の位取りが定着していない。 記述式の問題では、条件を満たしていない、相手に伝わる説明ができていないなど表現力にも課題が見られる。</p> <p>県 国語は、県平均と比べ基礎は同程度、活用はかなり上回った。しかし、「適切な主語を補って書く」「事柄を整理して簡潔に書く」「目的に応じて適切な文章を書く」など書く能力については県平均をかなり下回っている。 社会は、教科全体としては県平均を上回っている。「資料(文・グラフ・地図等)を読み取る技能」は下回っている。 数学は、教科全体で県平均を下回っている。また、「数と計算」「量と測定」「図形」の領域はいずれも県平均を下回っており、記述式の問題よりも選択式・短答式の問題の方が正答率が低い。 理科は、教科全体としては県平均を下回っているが、「科学的な思考・表現、観察・実験の技能」は、同程度である。「自然事象についての知識・理解」は県平均を下回っていた。</p>	<p>【学習状況調査の結果】 自分自身のことについて、「地域の行事に参加」「友達との約束を守る」「困っている人を進んで助ける」「いじめはいけいない」「役に立つ人間になりたい」といった項目では県平均を上回っている。 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかった」「失敗を恐れなくて挑戦する」「自分にはよいところがある」「夢や目標を持っている」といった項目では、県平均をかなり下回っている。 平日の学習時間は、1時間以上2時間未満、30分以上1時間未満が多い。30分より少ない、全くしない児童もいる。 休日の学習時間は、全国・県ともに県平均よりも少ない。 宿題はできているが、予習・復習については県平均を下回っている。 苦手な教科の学習、間違えた問題の勉強をしている割合が増え、県平均を上回っている。 学習のねらいや目標の提示は、県平均を大きく上回っている。 授業の中での学び合い(考えを出し合う・深め合う・話し合う)は、県平均をかなり下回っている。 国語・算数ともに、「好き」「よくわかる」「工夫している」「諦めずに考える」といった項目で、県平均をかなり下回っている。 読書時間は、1時間以上の割合が県平均を上回っている。 テレビなどの視聴時間は県平均を下回っているが、ゲームの時間はかなり上回っている。 あいさつは、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせると、県平均を上回る。</p>
<p style="text-align: center;">成果と課題</p> <p>算数では、少人数での習熟度別学習や到達度確認テストの取組により、記述式の問題に慣れ無回答の割合が減った。 朝学習や補充学習で繰り返し練習し、算数Aの正答率は県平均並になりつつある。 宿題や読書をする習慣がついてきた。 問題を把握したり考えをまとめたりするのに時間がかかったり、集中力が持続しなかつたりして時間内に全ての問題に取り組むことが難しい。 自己肯定感が低く、学習に向かう姿勢にも表れている。 下学年からの積み上げができていない。</p>	<p style="text-align: center;">課題に対応した改善方法</p> <p>自主学習を含め学年に応じた時間に集中して家庭学習に取り組めるよう、家庭学習週間を設け、家庭にも呼びかける。 チャイム同時スタート、チャイム同時終了を徹底し、けじめをつけ集中して学習に取り組めるようにする。 授業の「めあて」「まとめ」をはっきりさせるとともに、学習内容を「キーワード化」して、学んだことを印象に残す。 導入・発問・板書の工夫などにより、「わかった」「できた」から「おもしろかった」「楽しかった」「またやりたい」と思える授業づくりをしていく。 授業内に1度は、すべての児童が主体的に参加する場面を設定する。 解説したり説明したりする経験を積ませる。(聞く・書く・話し合う・発展させる) 朝学習などで、基礎的な学習の定着を図る。(力がつく学習のしかた) 読書活動をすすめ、語彙、言葉の使い方や選び方、想像力などを広げる。 学習規律を定着させる。</p>
<p style="text-align: center;">取組の検証方法及び検証時期</p> <p>基礎学力を定着させるため、学期ごとに2週間ずつの漢字・計算強化週間を設ける。 学期末ごとに、児童へのアンケートを実施する。</p>	<p style="text-align: center;">達成目標(数値目標)</p> <p>漢字・計算強化週間に意欲的に取り組む児童の割合を70%にする。 「算数が好き」という児童の割合を70%にする。 自己のよさを認められる児童の割合が前回の結果を上回るようにする。</p>